

平成30年第2回 区づくり推進横浜市会議員会議

日 時 平成30年6月1日（金）午前10時50分から

場 所 磯子区総合庁舎 7階 701・702 会議室

次 第

1 座長あいさつ 市会議員 加藤 広人

2 区長あいさつ 磯子区長 小林 正幸

3 議 題

平成30年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について

目 次

参考 区づくり推進横浜市議員会議運営要領

議題 平成 30 年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について

平成 30 年度 自主企画事業等一覧 1

磯子区に係る予算のすがた(平成 30 年度一般会計予算) 23

区づくり推進横浜市議員会議運営要領

制 定 平成 6年 5月25日
最近改正 平成25年 8月 9日

1 目 的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招 集

会議は、市会議長が招集する。

3 構 成

会議は、当該区選出の市議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説明員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- (1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。
- (3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事務等

- (1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- (2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- (3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成16年12月10日より施行する。

附 則

この要領は、平成25年 8月 9日より施行する。

平成 30 年度 自主企画事業等一覧

【新規】：新規事業、【重点】：重点事業】

I 魅力にあふれた住み続けたいまち

【6事業 23, 373千円】

幅広い世代が地域とのつながりを一層深められるよう、地域に活気と賑わいを創出します。また、多くの区民の皆さまのニーズを踏まえ、魅力的で、住みたい、住み続けたいと思える磯子区の実現を目指します。

事業名 [予算額：千円]	事業内容
<p>1 商店街にぎわいづくり事業</p> <p>[2, 990]</p> <p><地域振興課></p>	<p>磯子区商店街連合会と連携し、磯子区の商店街の魅力を発信することにより、商店街を含めた地域コミュニティの活性化を図ります。</p> <p>(1) 商店街イベント等魅力発信事業</p> <p>ア 商店街朝市《全8回 3回実施済》</p> <p>(イ) 区役所屋外駐車場等 《5/12 実施済、9・11・1・3月》</p> <p>(イ) シーサイドライン車両基地《4/7 実施済》</p> <p>(ウ) 日清オイリオグループ（株）横浜磯子事業場</p> <p>① 春祭り会場《4/21・4/22 実施済》</p> <p>② 夏祭り会場《7月》</p> <p>イ 商店街レシートラリーの実施《7～9月》【新規】 商店街連合会と連携し、商店街へ足を運んでいただくため、商店街の店舗でお買い物をした際のレシートを活用したイベントを実施します。</p> <p>ウ 商店街マップの配布《通年》 転入者等にも商店街マップの配布を行うなど、年間を通じて商店街の情報発信を積極的に実施し、商店街の魅力をPRします。</p> <p>(2) 商店街活性化支援事業《9月》 商店街の活性化の取り組みをまとめた事例集を作成します。</p>

<p>2 磯子まつり事業</p> <p>[4, 200]</p> <p><地域振興課></p>	<p>区民・区内活動団体、区内企業等で構成する委員会が主体となって区民まつりを開催します。区民の皆様の磯子区への愛着と一体感を醸成していきます。</p> <p>「第42回磯子まつり」の開催《9/30》</p>
<p>3 磯子区環境行動推進事業</p> <p>[7, 981]</p> <p><区政推進課></p> <p><地域振興課></p>	<p>区民、事業者、行政が一体となって区民生活における環境意識を高め、温室効果ガスの排出抑制等の環境行動を促進するため、節電、省エネや「ヨコハマ3R夢プラン」に基づく3R（リデュース・リユース・リサイクル）について、様々な普及・啓発活動を推進します。また、区内美化推進重点地区等での清掃及びポイ捨て防止啓発を行い、清潔できれいな街づくりを推進します。</p> <p>(1) いそごECOアクション事業</p> <p>ア 環境イベント</p> <p>ア 「いそご打ち水応援プロジェクト」《7～8月》</p> <p>イ 「いそごこどもエコフェスタ」《12/16》</p> <p>イ グリーンカーテンの区内公共施設への育成支援《5月》</p> <p>ウ 環境活動リーフレットの発行《7月》</p> <p>区内小学校全児童に配付</p> <p>(2) ヨコハマ3R夢アップ推進事業</p> <p>ボランティア団体や事業者、資源循環局磯子事務所と連携し様々な機会や手法により啓発活動を実施します。</p> <p>ア イベント等の機会を活用した啓発活動</p> <p>《全45回 3回（延べ1,444人）実施済》</p> <p>イ 環境教室</p> <p>保育園・幼稚園、小学校等での啓発活動《全20回》</p> <p>ウ 乳幼児健診等での子育て世代向け啓発</p> <p>《全65回 10回（延べ252人）実施済》</p> <p>エ 施設見学会《8/2》</p> <p>オ リサイクル工作教室《8/1》</p> <p>(3) クリーンタウン事業</p> <p>ア 美化推進員による美化推進重点地区の簡易清掃及びポイ捨て防止啓発《週3回》</p> <p>イ 磯子駅・新杉田駅前周辺での清掃《各駅週2回》</p>

	<p>(4) 磯子のまち緑化事業</p> <p>ア 駅前の花苗の植替《全9回》</p> <p>イ 区役所周辺等への区の花「コスモス」の種蒔き・維持管理《6～11月》</p>
<p>4 地域文化活性化事業</p> <p>[2, 458]</p> <p><区政推進課></p> <p><地域振興課></p>	<p>地域で文化活動をしている団体への支援として、発表の場、鑑賞の場の提供や、いそご芸術文化祭への助成を行います。また、文化にあふれたまちを目指し、音楽祭や青少年を対象としたダンスイベントを実施します。</p> <p>(1) いそご芸術文化祭への助成《18団体》</p> <p>(2) 第6回磯子音楽祭《12月》</p> <p>(3) 第7回 ISOGO ダンスまつり《3月》</p> <p>(4) 区民ホールギャラリー《通年 全45団体》</p> <p>(5) 読書活動推進イベント《12月》</p> <p>(6) 堀割川魅力づくり活動支援 地域団体によるイベント《全4回 8・11・1・3月》 広報活動等の支援《通年》</p>
<p>5 区民スポーツ振興事業</p> <p>[3, 044]</p> <p><地域振興課></p>	<p>区民のスポーツを通じた健康づくりを促進するため、スポーツ推進委員が実施する事業及び磯子区体育協会加盟団体等が開催する区民スポーツ大会や教室を支援します。</p> <p>(1) スポーツ推進委員事業</p> <p>ア ドッジビー体験会《通年》</p> <p>イ 磯子区民輪投げ大会《3/3》</p> <p>ウ 世界トライアスロンシリーズ横浜大会への従事《5/12実施済》</p> <p>エ 横浜マラソンへの従事《10/28》</p> <p>オ 区民駅伝大会等への従事《通年》</p> <p>カ 各地区における事業《通年》</p> <p>(2) 各種団体が開催する区民スポーツ大会や教室の支援《少年野球・綱引・剣道大会等 20事業程度》</p>
<p>6 健民祭応援事業</p> <p>[2, 700]</p> <p><地域振興課></p>	<p>地域の様々な団体が連携して実施する「健民祭」を支援し、地域の連携力を推進します。《9地区》</p>

II とともに支えあい、健康でいきいきと暮らせるまち

【14事業 33, 183千円】

未来を担う子どもたちを健やかに育むため、子育て支援や青少年育成の取組を積極的に推進します。また、高齢化が進む中、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らし続けていくために、人と人とのつながりを育み、互いに支えあえるまちづくりを進めます。

事業名 [予算額：千円]	事業内容
<p>7 子育て応援推進事業 [3, 599]</p> <p><こども家庭支援課></p>	<p>子どもをもつ家庭が健全に子育てを行えるよう、出産前から子育て中にわたり支援を行います。また、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援団体・機関との連携を進め、地域で子育て支援を進めます</p> <p>(1) 新米パパの育児教室《全3回 6/10・10/14・2/10》</p> <p>(2) 授乳相談《月1回》</p> <p>(3) 赤ちゃん教室《10会場 各会場月1回(8月休会)》</p> <p>(4) 保育ボランティアの研修と活用 ア 研修会《全4回 6/1・10/5・12/7・2/1》 イ 保育ボランティアの活用《通年》</p> <p>(5) 出生を祝う事業 新規 磯子区の子どもの健やかな成長を願い、出生の記念となるアルバムを配付します。</p> <p>(6) 子育て支援連絡会の協働開催《全2回》 地域子育て支援拠点とともに、地域の子育てのネットワークを構築するための連絡会を開催します。</p> <p>(7) 子育て支援マップの配布《5,000部》 区内の子育て情報をまとめたマップを更新・増刷します。</p>
<p>8 親子の笑顔サポート事業 新規 重点 [1, 745]</p> <p><こども家庭支援課></p>	<p>不適切な養育や子育てに困難を抱える親子に対して、親子関係が円滑になるような啓発や支援を実施します。また、子どもと女性の生活の安全を守るために、女性福祉相談に加えて専門相談も実施します。</p> <p>(1) 「ほのぼの子育て」リーフレットの配布 虐待予防のために、子どもとの効果的なコミュニケーションやしつけについてのアドバイスをリーフレットにまとめ配布します。《7,000部 7月以降通年》</p>

	<p>(2) 「愛の鞭^{むち}ゼロ作戦」リーフレット作成 新規 子どもを叩くなどの間違っ^{あやま}つたしつけが子どもの脳に悪い影響を与えることや正しいしつけの方法について、リーフレットを媒体として啓発します。《7,000部 7月以降通年》</p> <p>(3) 発達障害児地域支援ネットワーク（はっちネット）事業 発達障害児・者の支援者が集まって、理解を深めるための情報交換や勉強会、区民向けの講演会等を「いそご地域活動ホームいぶき」との協働により行います。 ア 区民向け講演会《10/10》 イ 連絡会内部研修《11/15》 事例検討《全2回 9/20・1/17》 ウ 関係機関（教職員）向け勉強会《8/1》 エ 発達障害の理解や支援方法を掲載した冊子を配布《500部》</p> <p>(4) 地域で支える「親そだち・子そだち」講演会（仮）新規 社会の変化とともに養育方法が変化しているため、子育てを支援している世代を対象に、親子の関わり方やしつけの方法などの講演会を実施します。《8/6》</p> <p>(5) 親子のための法律相談《隔月1回》新規 子どもと女性の生活の安全を守るために、弁護士による相談を実施します。</p> <p>(6) エリア別虐待防止連絡会（モデル実施）新規 地域で生活する要保護児童や要支援児童などを支援するために、生活圏（中学校区）で有識者を入れて地域、関係機関とともに課題の共有や整理を行います。 《2中学校区：岡村中学校エリア・浜中学校エリア 各3回》</p>
--	---

児童虐待防止対策事業【こども青少年局から区配 400千円】

- (1) 児童虐待防止草の根啓発講座《全5回》
- (2) 磯子区要保護児童対策地域協議会実務者会議
《代表者会議 3/13》
- (3) 児童虐待防止のための区民向け啓発
《パネル展示 11月、新米パパの育児教室でのSBS（揺さぶられ症候群）予防啓発》

地域子育て支援拠点「いそピヨ」事業【こども青少年局から区配 52,072千円】

親子が気軽に集い交流する場の提供、子育て相談、情報提供を行うとともに、子育て支援団体・関係者等のネットワークづくりや人材育成を行います。また専任の子育てパートナーがよりきめ細やかな相談・支援に取り組んでいきます。

<重点目標>

- (1) 地域に出向き地域の生きた情報を収集するとともに、ネットワークを活かした地域全体の子育て支援情報の集約と発信を行い、地域に偏りのない子育て支援を行います。
- (2) 利用者同士が支え合う関係を作れるよう取り組んでいきます。
- (3) 多様な養育者に支援が行き届くよう取り組みます。

参 考

「子ども食堂」に関する支援

子ども食堂を運営するボランティア団体等に対して、区社会福祉協議会と連携し、ネットワーク連絡会や研修会の開催などを支援しています。区としては、磯子事業会との包括連携協定に基づき、企業からの食材の提供やボランティア協力の支援につなげます。また、食品衛生に関する情報、活動場所の確保、チラシなどの周知の協力をします。

(子どもの貧困対策【こども青少年局事業】からの抜粋)

「横浜市子どもの貧困対策に関する計画」に基づき、困難を抱える子ども・若者、家庭を支援につなぐ仕組みづくりや子どもの生活支援・学習支援、ひとり親家庭への支援などを充実します。

支援につなぐための仕組みづくり〈拡充〉

- (1) 地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業〈拡充〉

(子どもの貧困対策推進事業)

ア モデル区(磯子区 港北区)における子どもの居場所づくりに対する支援

29年度に引き続き、いわゆる「子ども食堂」等地域の取組の創設・継続を支援するモデル事業を2区で実施します。

地域支援の実績のある区社会福祉協議会を相談窓口とし、新たな助成金や担い手の確保、団体の関係づくりなどに関する活動支援を行い、地域における子ども食堂の居場所づくりへの効果的な支援方法を検討します。

<p>9 保育園地域子育て事業</p> <p>[1, 187]</p> <p><こども家庭支援課></p>	<p>市立保育園の保育施設を活用した子育て支援事業を実施することで、親と子のふれあいや地域とのつながりを醸成し、子育て中の家庭や妊婦とその家族を支援します。</p> <p>また、園児が保育園で花を栽培・展示し、地域の緑化を進めます。30年度は引き続き、民間保育園等と協力し、活動を区内に広げていきます。</p> <p>(1) 食育推進事業 「すくすく・もぐもぐ」(給食体験と育児相談) 《全88回(5月以降)》</p> <p>(2) 育児支援事業 ア 図書貸出しコーナーの設置・読み聞かせ 《貸し出し件数 全550件》 《読み聞かせ 全190回》 イ プレパパ・プレママの保育見学・体験 《全80回6～3月》 ウ 出前保育《全25回 6～3月》 エ 合同育児講座 民間保育施設と合同実施《全3回 7・10・1月》</p> <p>(3) 保育園・幼稚園花いっぱい事業 ア フラワーポットによる花の栽培と展示《通年》 イ 栽培した花を区庁舎に展示《1階区民ホール 10/15～10/26》 ウ 種の採取及び保育園イベント参加者へ配布《随時》 エ 民間保育園等との協働による花の栽培・展示《通年》</p>
---	---

保育資源ネットワーク事業【こども青少年局から区配 557千円】

保育の質(専門性)の向上と地域子育て支援の充実に向け、公私立の保育施設が相互に連携を図ります。

保育職員研修事業【こども青少年局から区配 168千円】

公私保育施設の保育従事者を対象に研修を実施します。《全15回(6月～12月)》

参 考

保育所への臨床心理士派遣事業(こども青少年局)

臨床心理士を保育所に派遣し、保育所職員に対する保護者対応や支援のあり方についての相談・助言を行うことで、保育所の相談機能の強化を図ります。

<p>10 区民の健康づくり応援事業 重点</p> <p>[2, 566]</p> <p><福祉保健課></p>	<p>区民が自らの健康に関心を持ち、主体的な健康づくりを身近な場所で実施できるよう、講座やイベントを開催し、健康づくりに関する知識や技術の普及・啓発を行います。また、より多くの区民への啓発を行うため、商店街等と連携した健康づくりイベントを実施します。さらに、区民が健康づくり活動を継続するため、保健活動推進員への研修等を実施し、地区活動を支援します。</p> <p>(1) 出張！健康づくり応援隊《全3回、5/12(延べ103人)実施済・5/27・10/21》</p> <p>(2) がん検診啓発事業《全2回 パネル展①5/28～6/6②10/2～10/12、イベント①5/31、②10/3・10/4》新規 パネル展示中に、乳がん触診・肺年齢チェックなどの体験イベントも実施します。</p> <p>(3) 保健活動推進員関連事業 ア 保健活動推進員研修《全3回 6/8・6/14・6/22》 イ あなたのまちで健康づくり講座《通年》 ウ ウォーキング企画支援《通年》</p> <p>(4) 出張栄養相談《全12回 4/3(4人)・5/7(6人)実施済、6月～3月》</p> <p>(5) おかゆ講座《全6回 隔月 4/17(21人)実施済、6月～2月》</p> <p>(6) おいしいお話よみきかせ《全2回 8/23・12月》</p> <p>(7) 健康情報提供・啓発事業《通年》</p>
<p>11 第3期磯子区地域福祉保健計画推進事業</p> <p>[6, 718]</p> <p><福祉保健課></p>	<p>「誰もが幸せに暮らせるまち」を目指して、地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行い、第3期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」(計画期間：28～32年度)の推進を図ります。</p> <p>(1) 地域の福祉保健活動の支援 ア 策定・推進検討会《全2回 8/2・2月》 イ スイッチON磯子事業補助金 (ア) 地域支えあい事業《9地区》 (イ) 各地区別計画推進組織《9地区》 (ウ) 地区別取組事業《9地区・87事業》 ウ 区役所・区社協・地域ケアプラザ職員向け地域支援研修《全3回 6/19・6/26・7/3》 エ 地域支えあい事業訪問員研修会《3月》</p>

	<p>(2) 計画の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 第3期磯子区地域福祉保健計画講演会《11月》 イ まめ通信の発行《全9回（4・8・12月除く毎月）》
<p>12 健康わくわくみちづくり事業</p> <p>[2, 000]</p> <p><土木事務所></p>	<p>高齢者をはじめ、区民の健康づくりや外出意欲向上のため、設定したルートに駅や施設からの距離がわかる行先表示標や休憩スポットとなるベンチを設置し、“歩くことが楽しくなる道”を整備します。</p> <p>また、区民からの要望のある箇所にお休みベンチの設置や補修を行います。</p> <p>(1) 実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ア わくわくルート <ul style="list-style-type: none"> (ア) ルート選定《4～9月》 (イ) 設置場所の検討・調整《10～11月》 (ウ) 行先表示標・ベンチ等の購入・設置《12～1月》 イ 区民要望箇所 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 設置予定箇所の調査・選定《4～6月》 (イ) 設置箇所の決定・報告《7月》 (ウ) ベンチ設置《8～10月》 <p>(2) 設置内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 行先表示標《8枚》 イ ベンチ《10基》
<p>13 高齢者みんなで支えるまちづくり事業</p> <p>[1, 711]</p> <p><高齢・障害支援課></p>	<p>超高齢社会が進み、団塊の世代が後期高齢者になる 2025年に向け、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう地域包括ケアシステムの構築を目指します。そのために、高齢者自らが老後を考えるきっかけづくりや健康づくりを進めるとともに、認知症の方々を地域で支え見守る体制づくりを進めます。</p> <p>(1) 認知症普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 認知症サポーター養成講座《通年》 イ 認知症サポーターの高齢者支援ボランティア「いそごオレンジボランティア」の登録促進《通年》 ウ 磯子区徘徊高齢者あんしんネットワーク連絡会《12月》 エ 磯子なつかしカルタ作成《1月》 新規

	<p>(2) 地域ケア会議</p> <p>ア 個別ケース地域ケア会議及び包括レベル地域ケア会議《25回 通年 1回開催》</p> <p>イ 区レベル地域ケア会議《12月》</p> <p>(3) ロコモティブシンドローム(運動器の機能低下)予防 磯子区版ハマトレ(介護予防体操)ポスター作成及びDVD増版《11月》</p>
--	--

磯子区版エンディングノート推進事業【健康福祉局から区配 350千円】

区民一人ひとりが自らの意思で自身の生き方を選択し、これまでの人生を振り返り、これからの生き方を考えるきっかけとするため、活用講座等により磯子区版エンディングノートを普及します。《通年》

元気づくりステーション事業【健康福祉局から区配 1,100千円】

身近な場所で高齢者が主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動「元気づくりステーション」の活動を促進するよう支援します。《継続22か所 新規1か所》

<p>14 障害者地域生活サポート事業</p> <p>[605]</p> <p><高齢・障害支援課></p>	<p>障害者の支援に関わる関係機関のネットワークにより、障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決を図るとともに、支援者のスキルアップのための学習会を開催します。また、障害理解の促進に向けた区民向け啓発事業として、区民向け普及啓発イベントを行います。</p> <p>(1) 障害者相談支援ネットワーク事業</p> <p>ア 支援者学習会《全2回 10・2月》</p> <p>イ 障害者の災害対応力向上の支援</p> <p>(イ) 障害者関係機関による防災の意見交換《10月》</p> <p>(イ) 障害者の地域防災訓練への参加促進</p> <p>(2) 障害者週間等普及啓発</p> <p>ア 障害者施設自主製品販売(こすもすショップ)《全11回 4～5月2回実施済、6～3月(8月除く)》</p> <p>イ 自殺予防週間パネル展《9月》</p> <p>ウ 障害者週間パネル展《12/3～12/7》</p> <p>エ 障害理解の促進に向けた普及啓発イベント《12月》</p> <p>(3) 精神保健福祉ボランティア入門講座《1コース3回 10～11月》</p>
---	--

<p>15 生活困窮相談支援事業</p> <p>[320]</p> <p><生活支援課></p>	<p>生活困窮者相談支援事業をより効果的に展開するために、庁内外関係機関の支援者向けに実践的講習会を開催するとともに、区民向けに相談窓口の案内を記載した事業PRカードの配布を継続します。</p> <p>また、29年度に作成した社会参加促進の手引きを活用し、社会的ひきこもり等の相談者のニーズと区内の身近な社会参加活動のマッチングを進め、個別支援を充実させます。</p> <p>(1) 実践的講習開催事業 《10・2月》</p> <p>(2) 事業PRカード配布事業</p> <p>昨年度配布先への補充と確認《約200か所 通年》</p>
--	--

磯子区寄り添い型学習支援事業【健康福祉局から区配 13,512千円】

生活困窮状態等により支援を必要とする家庭に育つ中学生を対象に、高校進学に向けた個別学習支援を行います。《区内3か所（「横浜市社会教育コーナー」「洋光台地域ケアプラザ」「新杉田交流スペース」 定員計70人）

また、高校中退防止に向けた学習の仕方等に関する相談支援等についても行います。

<p>16 自治会町内会振興事業</p> <p>[4,260]</p> <p><地域振興課></p>	<p>自治会町内会の活動支援や負担軽減等、地域の振興に寄与する取組を進めます。また、自治会町内会長等に感謝の意を表すとともに、行政と地域との信頼関係を深めます。</p> <p>(1) 自治会町内会支援事業</p> <p>ア 加入申込書・活動案内冊子の配布《随時》</p> <p>戸籍課窓口での転入者への配布や、区内宅建協会の会員への配布依頼等</p> <p>イ 新設のマンション等へ自治会町内会の紹介動画等を活用した設立の支援</p> <p>ウ 会計講習会 《全9回（1コース3回×3）》</p> <p>エ 広報講習会 《全9回（1コース3回×3）》</p> <p>オ 区連会資料の配送委託《随時》</p> <p>(2) 自治会町内会長感謝会《3月》</p> <p>(3) 自治会町内会役員等表彰《6～7月》</p> <p>(4) 掲示板設置等補助事業《5～10月》</p>
<p>17 「区民のちから」発揮・活用事業</p> <p>[1,214]</p> <p><地域振興課></p>	<p>地域の課題を「区民のちから」で解決していくために、いそご区民活動支援センターを中心に、地域活動の担い手を育成するとともに、講座の実施や情報紙・ホームページを活用した情報提供により、活動グループ・団体を支援します。</p>

	<p>(1) 活動参加促進事業</p> <p>ア 担い手育成講座・入門編《1コース5回 10～11月》</p> <p>イ ボランティア応援隊事業</p> <p>区民から公募した「磯子区ボランティア応援隊」が、地域で活動する団体の情報を支援センター情報誌「いそつな」に掲載します。</p> <p>(2) 運営支援事業</p> <p>ア 担い手育成講座・スキルアップ編《全2回 7・1月》</p> <p>イ 交流会</p> <p>地域活動を行う団体・グループや区内各施設との交流会を実施《全2回 8・2月》</p> <p>ウ いそご地域活動フォーラム</p> <p>活動団体の発表の場や活動参加のきっかけとなるイベントを実施《6/16》</p> <p>エ スペース・機材の提供</p> <p>オ 情報提供</p> <p>(ア) 情報紙「いそつな」の発行《毎月1,000部程度発行》</p> <p>(イ) 活動に関する情報の収集・相談窓口での提供</p>
--	--

元気な地域づくり推進事業【市民局から区配 2,485千円】

身近な地域における活動を積極的に支援するとともに、自治会町内会をはじめとする様々な団体が連携して、課題解決に取り組む地域を広げていくため、「人材づくり」や「組織づくり」など地域の取組を支援します。

(1) 地域運営補助金

自治会町内会を含む複数の団体が連携した多世代交流や青少年育成などの取組を支援します。《3団体》

(2) コスモスミーティング

地域課題解決のための意見交換の場として、各地区連合町内会で実施します。《9地区》

協働による「地域づくり大学校」事業【市民局から区配 1,100千円】

【いそご地域づくり塾】

先進的な事例の現地見学やワークショップでの学び合いを通して、次代の地域活動を担う区民と区職員、区社協職員などが「協働による地域づくり」を学び、地域の課題解決や魅力づくりを進める力を養うことを目的とした「いそご地域づくり塾」を実施します。《実施時期：9～12月、実施回数：7回、参加者：30人》

<p>18 国際交流推進事業</p> <p>[608]</p> <p><地域振興課></p>	<p>外国人にとっても住みやすい環境づくりを目指し、相談業務や通訳・翻訳業務を通して外国人の生活をサポートするとともに、日本語ボランティアによる学びの場を支援します。</p> <p>(1) 国際交流コーナー事業 ア 生活相談 月・水・金曜日 午前10時から午後1時30分まで イ 通訳・翻訳業務 通訳・翻訳の依頼に応じて、事前に登録しているボランティアを派遣《随時》 ウ 各国料理教室、外国人による日本語スピーチ会等の交流イベント《全5回》</p> <p>(2) 日本語教室支援事業 日本語ボランティアフォローアップ講座を実施 《全4回 1～3月》</p> <p>(3) 国際交流推進イベント 磯子まつりにおいてアフリカ開発会議関連イベントを実施《9/30》</p>
<p>19 青少年育成活動助成事業</p> <p>[4, 600]</p> <p><地域振興課></p>	<p>学校・家庭・地域が連携した青少年健全育成のさらなる推進を図るとともに、青少年指導員が実施する事業等、区内の青少年育成活動への支援をより一層進めます。</p> <p>(1) 磯子区青少年育成協議会への活動支援 ア 磯子区学校・家庭・地域連携事業 《9地区及び7中学校区》 イ 青少年健全育成事業（出前授業）《小・中学校各1校》</p> <p>(2) 青少年指導員事業 磯子区青少年指導員協議会の活動を支援 ア 夏休み作品教室《9地区 7～8月》 イ 夏休み工場見学会《8/1》 ウ 第6回磯子区紙ヒコーキ大会《9/22》 エ いそごどもまつり2018《11/18》</p> <p>(3) 磯子区子ども会連絡協議会への支援 磯子区子ども会連絡協議会が行う活動を支援し、事業に対して補助を行います。</p> <p>(4) 青少年育成活動への支援《8事業》</p>

地域ユースプラザ事業【区局連携促進事業 11,108千円】

地域ユースプラザは、青少年相談センターの支所的機能を有し、ひきこもり等の思春期・青年期問題の第一次的な総合相談や自立に向けた青少年の居場所を運営するほか、地域に密着した活動を行うことを目的として、市内方面別4か所で開設しています。

ひきこもり等の若者を適切な支援につなげるためには、地域ユースプラザと区役所の連携を強化し、一体となって自立支援・就労支援に取り組むことが必要であることから、南部ユースプラザが磯子区役所近隣ビルに6月1日に移転します。

<p>20 磯子らくらく買い物 支援モデル事業</p> <p>[2,050]</p> <p><区政推進課></p>	<p>近くに商業施設がなく、交通が不便な地域に居住しているなど、日常の買い物が困難な状況にある高齢者等を対象に、体力的負担の軽減や外出意欲向上のため、買い物支援をモデル実施します。《モデル実施 1地区》</p>
---	---

Ⅲ 安全・安心で住みやすいまち

【6事業 17,924千円】

全国各地で発生している震災・風水害の教訓や磯子区の特性を踏まえ、区民への啓発や地域の自助・共助の支援、総合的な災害対策の強化を実施し、より災害に強い地域づくりに向けた取組を推進します。また、継続して防犯や交通安全等の取組を関係機関と連携して推進し、安全・安心な暮らしの実現を目指します。

事業名 [予算額：千円]	事業内容
<p>21 地域と一緒に作る 安全安心まちづくり事業 重点</p> <p>[10,671]</p> <p><総務課> <福祉保健課> <高齢・障害支援課> <生活衛生課></p>	<p>子育て世代に対する自助・共助の啓発・促進を目的とした防災講座の開催や啓発用リーフレットの作成を行います。また、地域防災拠点単位の防災マップの作成・配付や地域が主体となって行う防災訓練の支援、地域防災活動の担い手となるボランティア団体の活動支援等を行います。</p> <p>(1) 地域の自助・共助強化事業</p> <p>ア 子育て世代に対する自助・共助の啓発・促進</p> <p>(ア) 地域子育て支援拠点「いそピヨ」での防災講座 《全8回》</p> <p>(イ) 防災啓発用リーフレット等の作成（1月） 新規</p> <p>イ 地域防災拠点防災マップの作成（9月）・配付 《14拠点》</p> <p>災害時に危険な箇所や道路状況の確認、情報収集に役立つ地域防災拠点を単位とした防災マップを作成・配付し、防災訓練等での活用を支援します。なお、30年度で全拠点のマップが完成します。</p> <p>ウ 防災マップの配布 転入者等に対する磯子区防災マップの配布《通年》</p> <p>エ 要援護者支援促進事業 協定の締結、名簿の作成等《133自治会町内会》</p> <p>(2) 地域防災訓練等支援事業</p> <p>ア 自治会町内会等が行う防災訓練の支援</p> <p>イ 地域防災拠点の支援</p> <p>(ア) 地域防災拠点訓練の支援《22拠点 1～3月》</p> <p>(イ) 拠点備蓄資機材の拡充《21拠点》</p> <p>ウ 拠点運営委員向けの講習会《全2回 9・11月》</p>

	<p>(3) 防災ボランティア活動支援事業</p> <p>ア 防災パネル展の開催 《全2回 8/27～9/3・1/15～1/18》</p> <p>イ 応急手当普及員の再講習の支援</p> <p>(4) 救急医療情報キット配布事業 希望する区民に対し、救急医療情報キットを配布《通年》</p> <p>(5) 災害時医療体制充実のための訓練</p> <p>ア 区医師会等関係機関と連携した訓練 《全3回 7月・11/10・11/18》</p> <p>イ 関係機関等による情報受伝達訓練 《全6回 4/19 実施済、6・8・10・12・2月》</p> <p>(6) 区災害対策本部運営強化事業</p> <p>ア 区本部運営訓練 関係機関、ボランティア団体と連携した訓練等を実施 《全3回 5/31・9・1月》</p> <p>イ 拠点動員者研修 拠点動員者のスキルアップを図る研修を実施 《延べ2回 10月》</p> <p>ウ 区本部備蓄物品の拡充</p> <p>(7) 災害時ペット対策の啓発 ペットの飼い主に対して災害への備え、備蓄しておく物品や準備すべき事柄等について啓発します。</p> <p>ア 災害時ペット手帳の増刷・配布《2,000部印刷 通年》</p> <p>イ 地域防災拠点訓練時等での啓発パネル等展示《通年》</p> <p>ウ 地域防災拠点でのペット同行避難場所の設置支援 《通年》</p> <p>エ 災害時ペット対策の講習会《9月》</p>
--	---

緊急時情報システム運用試行事業【区局連携促進事業 670千円】

自治会町内会長等に、風水害等の発災時の緊急情報をコンピューター音声で一斉に電話連絡できる「緊急時情報システム」を29年度から3年間の試行運用として開始しています。引き続き、地域との効果的な情報受伝達体制の確立に向けて、事業効果を検証します。

磯子区総合庁舎における浸水対策の強化【区局連携促進事業 61,917千円】

※総事業費 74,458千円

夜間や休日など地震が発生した直後、職員が参集する前に津波が発生した場合に、区災害対策本部機能を維持するため、現行に比べより迅速に設置が可能な防潮設備を設置します。

<p>22 交通安全啓発事業</p> <p>[2, 565]</p> <p><地域振興課></p>	<p>交通事故防止と安全意識の高揚を図るために交通安全指導と啓発活動を警察、交通安全協会等の団体と連携して進めます。</p> <p>(1) 交通安全指導 交通安全教室や研修会を警察署、交通安全協会、ボランティア団体等と連携して実施します。</p> <p>ア 幼児交通安全教室 幼児を対象に交通安全の講話（お話・ビデオ等）、横断歩行訓練などを実施します。 《全31園（通年） 4～5月10園実施済》</p> <p>イ 児童交通安全教室・はまっ子交通安全教室 児童交通安全教室では安全な歩行と正しい自転車の乗り方の指導をします。はまっ子交通安全教室では車とダミー人形を使った巻き込み・衝突実験などを併せて行います。《全16校 6～11月》</p> <p>ウ 高齢者を対象とした交通安全指導 (ア) 研修会《7/6》 (イ) 参加体験型交通安全教室《10/22》 (ウ) 老人クラブを訪問しての交通安全教室《随時》</p> <p>(2) 交通安全キャンペーン 年間及び各季の運動を関係団体と連携して実施します。</p> <p>ア 各季キャンペーン《全4回 4/10 実施済、7・9・12月》</p> <p>イ 強化月間キャンペーン《全4回 5・6・10・12月》</p> <p>(3) スクールゾーン対策事業 児童を交通事故から守るために、安全な街づくり・環境づくりを各スクールゾーン対策協議会と連携して実施します。</p>
---	---

駅周辺安全確保事業【道路局から区配 5,800千円】

区内5駅周辺における自転車等の放置を防止し、きれいで安全なまちづくりを目指すため、啓発誘導員を配置し、自転車駐車場への誘導と放置防止を呼びかけます。

また、放置多発地域では、放置防止のための広報啓発等を行います。

- (1) 新杉田駅、京急杉田駅周辺《各150日》
- (2) 根岸駅、磯子駅《各51日》
- (3) 洋光台駅《103日》

<p>23 いそご地域・学校防犯力強化事業</p> <p>[951]</p> <p><地域振興課></p>	<p>犯罪のない安全で安心なまちを実現するため、地域・学校・警察等と協力・連携し、防犯対策を進めます。</p> <p>(1) 防犯活動支援事業</p> <p>ア 区民による主体的な防犯活動や取組に対する支援 自治会町内会など区民が主体的に行っている防犯パトロールなどの活動を支援します。防犯パトロール物品(ベスト、腕章、のぼり旗等)を提供します。《通年》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>当事業は、【市民局からの区配 160 千円（地域防犯活動支援事業）】と合わせて執行します。</p> </div> <p>イ 地域防犯活動と学校防犯活動の連携強化 地域と学校による合同会議や講習会を行い、相互に連携した防犯活動の展開を図ります。《随時》</p> <p>ウ 安全安心メールの配信 区内の犯罪発生情報等を、登録していただいたメールアドレスに配信します。《随時》</p> <p>エ 防犯啓発キャンペーン《区内主要駅前等 月1回》 警察、防犯協会と合同で、啓発グッズ等を配布し防犯意識の啓発を行います。</p> <p>(2) 安全・安心まちづくり推進協議会運営 磯子警察署や区内の防犯及び交通安全関係機関・団体と連携した活動を進めます。</p> <p>ア 安全・安心まちづくり推進協議会《6/4》</p> <p>イ 安全・安心まちづくり功労者表彰《6/4》</p> <p>(3) 中学生ポスターコンクールの実施及び表彰 区内中学生の防犯意識及び交通安全意識を高めるため、ポスターコンクールを実施します。《7～10月》</p> <p>(4) 青色防犯パトロール 青色回転灯を装着した公用車による区内の巡回パトロールを行います。《通年》</p>
<p>24 消費生活推進事業</p> <p>[710]</p> <p><地域振興課></p>	<p>区民の安全で快適な消費生活の推進を図るとともに、消費者の意識向上と知識向上を目的として、磯子区消費生活推進員による活動を支援します。</p> <p>(1) 地区活動支援</p> <p>ア 消費者被害未然防止・拡大防止に関する啓発講座《全14回(7地区×2回)》</p>

	<p>イ 各地区の活動報告を掲載した『いそご消費生活だより地区版』の発行《3月》</p> <p>(2) 区活動事業</p> <p>ア 消費生活教室《6/26》</p> <p>イ こども消費生活セミナー《8月》</p> <p>ウ 得トク生活フェスタ《11/3》</p> <p>エ 磯子くらしのセミナー《12月》</p> <p>オ いそご消費生活だよりの発行《2月》</p> <p>(3) 推進員活性化事業</p> <p>ア 施設見学会（推進員の知識向上を目的）《10/18》</p> <p>イ 合同会議（推進員の地域間連携の向上を目的）《全2回 8/28・2月》</p> <p>ウ 地区代表者会議《全11回（通年）2回（延べ24人）実施済》</p>
<p>25 食と暮らしの安全確保・啓発事業</p> <p>[527]</p> <p><生活衛生課></p>	<p>区民の安全で安心な生活を実現するため、健康危機管理の強化に対する支援や生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保</p> <p>食品取扱施設への立入り時に調理器具や手指の拭取り検査を実施し、その場で結果を評価します。</p> <p>ア 保育園等《全100施設 6～2月》</p> <p>イ 弁当屋《全2施設 6～2月》</p> <p>拭取り検査の他、培地を用いて細菌による汚染を判定し、衛生指導に生かします。</p> <p>(2) 食中毒、感染症予防対策</p> <p>地域住民対象の食中毒予防啓発イベント・講習会や社会福祉施設職員対象の感染症予防研修会を実施します。</p> <p>ア 食中毒予防キャンペーン《7月》</p> <p>イ 感染症対策指導者養成研修会《全4回 9月》</p> <p>(3) 食と暮らしの衛生に関する情報発信</p> <p>ア 衛生講習会（区民、施設従事者対象の出前講座）《全65回 通年》</p> <p>イ イベントにおける食中毒予防講習会《全4回 6・8月》</p> <p>ウ 配食サービス、こども食堂等における食中毒予防講習会《全2回 11月》</p> <p>エ 食中毒・衛生害虫・災害時ペット対策・薬物乱用のパネル展《全4回 5/14～5/20 実施済、7・9・10月》</p>

	<p>オ 広報よこはまにて食中毒予防に関する啓発《6月》</p> <p>(4) 衛生害虫等対策</p> <p>ア 広報よこはまにてハチ・蚊等に関する啓発《5月実施済》</p> <p>イ 区役所でハチの巣駆除機器の貸出《通年》</p> <p>(5) 動物適正飼育に関する啓発</p> <p>ア 犬や猫の適正飼育啓発資料の配布《通年 2,000部配布》</p> <p>イ 適正・終生飼育講演会《10月》、長寿犬表彰《11月》</p> <p>(6) 猫の適正飼育支援（猫侵入防止機器の貸出し）《通年》</p>
<p>26 杉田駅・新杉田駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づく案内サインの整備事業</p> <p>[2,500]</p> <p><区政推進課></p>	<p>杉田駅・新杉田駅周辺地区内の各特定事業者が設置した案内サインを補完することを目的に、区役所が整備することとなっている総合案内サインを京急杉田駅側に設置します。</p> <p>※JR新杉田駅側へは28年度に設置済み。</p> <p>(1) 現地調査及び設置場所の確定《9月》</p> <p>(2) 屋外広告物条例等の手続《12月》</p> <p>(3) 総合案内サインの設置《1月》</p>

空家対策モデル検証事業【区局連携促進事業 7,500千円（他区分含む）】
※総事業費 10,156千円

空家活用の他区への展開に向けた調査・検討を行うとともに、管理不全の空家の解消に向けて、各区が効率的な指導が行えるよう検討します。

また、増加傾向にある管理不全な空家について、所有者へ適切な指導を効率的に実施するため、各空家の情報を区局が連携して管理するデータシステムを構築します。

磯子駅前再編整備に関する検討【区局連携促進事業 4,000千円】

超高齢社会の到来、歩行往来者の増加、自動車交通量の減少を踏まえて、磯子駅前広場のあり方を見直し、従来の交通結節点の機能に加え、安全安心でバリアフリーな広場、賑わいの創出や活性化に資する空間の整備に向け、29年度に行った交通量調査及び課題整理を踏まえ、駅前再編整備に関する検討を行います。

- (1) 現状課題の対応方策検討《10月》
- (2) 駅前広場の再編構想図作成《1月》

IV おもてなしの心による区民サービス

【5事業 23, 107千円】

おもてなし意識の向上のため、職員研修や窓口の改善等を実施し、親しみやすい区役所を実現します。また、広報よこはまをはじめとする様々な媒体を通じて、効果的でわかりやすい情報発信を行います。

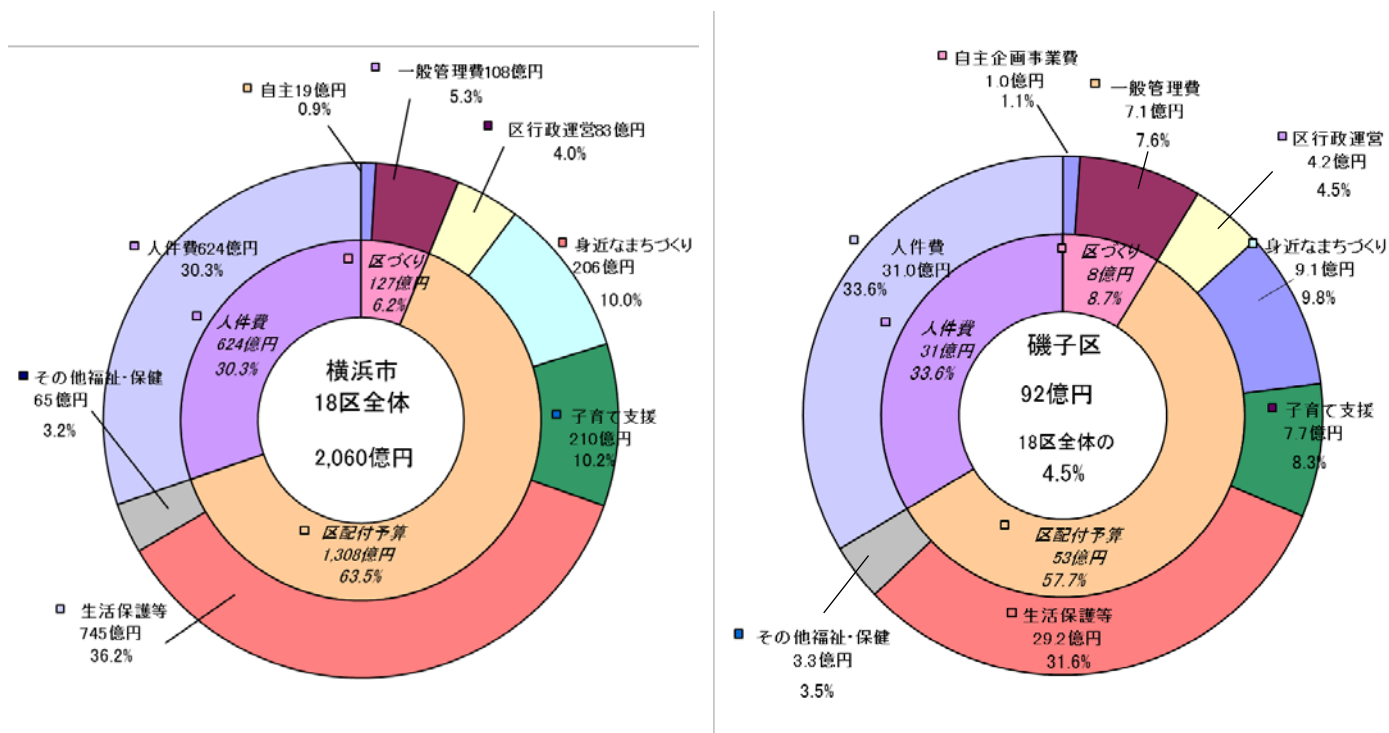
事業名 [予算額：千円]	事業内容
<p>27 区民満足度向上事業</p> <p>[2, 936]</p> <p><総務課></p>	<p>区民満足度の向上を図るため、区役所職員の窓口対応に関する取組や人権啓発に関する研修を行うとともに、来庁者にとって、より快適で利用しやすい庁舎環境の整備を行います。</p> <p>(1) 区研修事業</p> <p>ア おもてなし研修《6～8月》 全職員が転入時に受講し、その後3年に1回受講します。</p> <p>イ 対応力向上研修《8～9月》 窓口対応に役立つ知識を習得し、窓口サービスの向上につなげます。</p> <p>ウ 磯子区独自の窓口外部評価《5～6月》</p> <p>エ 人権啓発研修《通年》、人権啓発講演会の開催《12月》</p> <p>オ 課題検討にかかる職員派遣《通年》 区の課題の解決を図るため、他都市の先進的な取り組みを学びます。</p> <p>(2) 区庁舎の環境整備 高齢者や外国人に配慮した案内表示の設置《3月》</p>
<p>28 広報相談事業</p> <p>[7, 370]</p> <p><総務課> <区政推進課></p>	<p>区民生活マップ及び統計白書等の発行や、法律相談等の区民相談、来庁者への案内を行います。</p> <p>(1) 区民生活マップの改訂版発行及び転入者等への配布 《3月 15,000部》</p> <p>(2) 区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」の発行《10月 1,500部》</p> <p>(3) 弁護士、行政書士、交通事故等専門相談員、行政相談委員による区民相談の実施《通年》</p> <p>(4) 来庁者への親切丁寧な総合窓口案内《通年》</p>

<p>29 広報よこはま磯子区 版発行事業</p> <p>[10, 271]</p> <p><区政推進課></p>	<p>紙面の充実を図るとともに、効果的でわかりやすい区政PR、コラム紹介、イベント情報など区民により親しまれる広報紙を作成します。</p> <p>(1) 広報よこはま磯子区版 毎月1日発行 73,500部/月</p> <p>(2) 紙面アンケート《毎月》</p>
<p>30 区づくり経営事業</p> <p>[2, 030]</p> <p><区政推進課></p>	<p>区民ニーズを踏まえ、区の行政運営を効果的・効率的に推進するため、主要事業の企画・進行管理、区内事業の総合調整及び各種事業の評価・検証等を実施します。</p> <p>(1) 運営方針の策定、周知《5月実施済》</p> <p>(2) 事業評価委員会《全3回 6・10・3月》</p> <p>(3) 区の魅力発信（工場見学会《8月》新規）</p>
<p>31 区総合調整費</p> <p>[500]</p> <p><総務課></p>	<p>区役所業務にかかる区民のニーズや緊急な課題に迅速かつ柔軟に対応するための経費です。</p>

磯子区に係る予算のすがた（平成 30 年度一般会計予算）

平成 30 年度に磯子区が執行する予算の規模（区の人件費を含む）は、右下の円グラフのとおり、約 92 億円で、18 区の予算全体の 4.5%を占めています。

これは、磯子区民 16 万 6,515 人（平成 30 年 5 月 1 日時点）の一人当たりに換算すると、約 5 万 5,250 円となります。



【予算の分類】

区の予算は次のとおり大きく 3 つに分けることができます。

- 地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業をはじめとした「個性ある区づくり推進費」
- 区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担うために各局から配付を受ける「区配付予算」
- 各種事務事業を執行していくための「人件費」

【予算の内訳】

「個性ある区づくり推進費」・・・約 8 億円

磯子区の予算の 8.7%となっています。この中には、「自主企画事業費」と「一般管理費」があり、区が自主的に編成しているものです。

- 「区配付予算」・・・約 53 億円

磯子区に係る予算全体の中で一番大きな部分を占め、全体の 57.7%におよびます。主なものは次のとおりです。

・「身近なまちづくり」・・・約 9 億 1,000 万円

身近な道路・公園等の管理運営経費で、土木事務所が執行します。磯子区予算全体のうち 9.8%を占めています。

・「子育て支援」・・・約 7 億 7,000 万円

保育所の運営費や放課後児童健全育成などの経費で、磯子区予算全体のうち 8.3%を占めています。

・「生活保護等」・・・約 29 億 2,000 万円

生活困窮者に扶助費を支給する経費などで、磯子区予算全体のうち 31.6%を占めています。

○ 「人件費」・・・約 31 億円

磯子区予算のうち 33.6%を占めています。磯子区の職員及び臨時的任用職員の人件費で、退職手当等は除いた試算額です。

主 な 事 業 内 容				(単位:百万円)
分類	予算	説明		
個性ある区づくり推進費	803	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算		
自主企画事業費 (温暖化対策プラス・環境未来都市含む)	98	区が地域の課題やニーズに迅速かつきめ細かく対応するための予算及び各局から配付されていた予算を束ねたもので、局が定めた一定の条件に基づいて地域の実情に応じて編成・執行する予算です。		
一般管理費	706	生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費や、区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。		
区配付予算	5,335	局からの予算配付を受け、区が執行している予算		
区行政運営	419	(総務部が執行する予算です。)		
賦課徴収費	74	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。		
広報費	14	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。		
統計調査費	10	各種統計調査を行うための経費です。		
その他	321	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。		
身近なまちづくり	907	(土木事務所が執行する予算です。)*下水道事業を含む		1,042 百万円
道路修繕費等	712	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。		
河川維持管理費等	33	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。		
下水道事業(※参考)	(135)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。		
公園管理費等	161	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。		
子育て支援	766	(福祉保健センター等が執行する予算です。)		
民間保育所運営	27	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費です。		
市立保育所運営	250	保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。		
横浜保育室助成	0	本市独自の基準を満たす認可外保育施設のうち、地域状況等を踏まえて認定したよこはま保育室に助成するための経費などです。		
放課後児童健全育成	318	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。		
その他	171	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。		
生活保護等	2,917	(福祉保健センターが執行する予算です。)		
生活保護	2,894	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。		
生活困窮者自立支援	23	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。		
その他福祉・保健	326	(福祉保健センターが執行する予算です。)		
障害者福祉	118	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。		
高齢者福祉	29	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。		
その他	179	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。		
人件費	3,102			
職員人件費	3,102	総務局人事部労務課公表「平成29年度職員人件費予算の目安」より		
合 計	9,240	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む		9,375 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)